



日和山

新潟市立日和山小学校
学校便り 第95号
令和5年11月22日

発展進化形

校長 宇ノ井 修二

10月23日(月)3時間目の11時頃。日和っ子の学習の様子を見ようと、いつものように紙シートタイプのモップ片手に校長室を出発しました。

日和っ子の学習の様子を見て回り、最後に図書館へ。図書館内には、2年生がいました。廊下においても、とても静かに読書を進めている様子が伝わってきます。入り口に立ち、ドアを開けようと思いました。すると、入り口近くに座っていた女の子と目が合いました。その子は、軽く頭を下げ、無言で会釈をしてくれました。私も、軽く頭を下げながら、ほんのかすかな無声音で「こんにちは」と、その会釈に応じました。



先日実施した「目指せ!あいさつ5万人運動」では、最終的に85780人に達し、とりあえず目標達成となりました。中学生の協力、保護者の皆さんの協力、そして地域の皆様からの協力を得て、なんとか達成できた目標です。当校の挨拶のモットーは「**おかめ**であいさつ」です。「**おおきな声で**」「**からだをむけて**」「**めを見て**」、そして「**おかめ**」のように、にこにこした笑顔で挨拶することがモットーなのです。

本年度の取組の重点は、「パオン」(PAON)です。「N」は「にこにこあいさつ」です。あいさつ運動が終わっても、挨拶の取組はずっとずっと続けていきます。

モップを持って校舎を回るときには、およそ別の用件も済ませるようにしています。23日は、何人かの職員に午前中に伝達しなければならないことがあったので、この11時がタイミングとしてはちょうどよいと考えていました。

階段を上がっていくと、伝達しなければならない用事のあった職員が、ちょうど下りてきました。「グッドタイミング!」ただし、手には子どものノートらしき物を一冊持っています。

昔担任をしていたとき、コピーのために教務室に向かっていたり、ある用事で移動していたりしたとき、急いでいるにもかかわらず誰かに呼び止められて大変な思いをしてしまったことがありました。結局、私を待っていた子どもたちが混乱していたり、用事のタイミングを逸してしまったり。ときには電話の相手を待たせることになってしまったことさえあったのです。だから、よほどの用件でない限り、移動中の職員のことは呼び止めないようにし、「こんにちは」とか「お疲れ様です」と挨拶だけして通り過ぎるようにしています。にこやかに歩いていたとしても、およそ急いでいるときが多いからです。

そんな思いから、「この職員には、今は話し掛けずに、後にしよう。」と状況から判断し、やり過ぎしました。でも、結局私からの伝達が遅れたことで、その職員には、後でやや不快な気持ちをもたせてしまうことになりました。

大人である私でも、状況を判断して取った行動が、いつも正解であるとは限らないのです。

冒頭の、図書館で会釈をしてくれた子に聞いてみました。「言葉での挨拶ではなく、かるく頭を下げてくれたよね。どうしてそうしたのかな?」と。その子は「図書館で、みんな静かだったからです。」と言葉少なに説明してくれました。「図書館」は場所です。「みんな静かだった」は状況です。彼女は、場所と状況から、無言での会釈を選択したのだと説明してくれたわけです。もし、静けさを破り、「大きな声で、体を向けて、目を見て」「**おかめ**」で挨拶されたら、私は戸惑ったことでしょう。彼女は、「**おかめ**であいさつ」の超発展進化形を用いてくれたのです。彼女の的確な状況判断は、大正解です。

その後、体育館へ。第3学年の体育の授業です。入り口の私に気付いた運動中の何人かの子が、「気を付け」の姿勢になり、とびっきりの笑顔で「こんにちは!」と、頭を下げて挨拶してくれました。

教えられたことの、一段も二段も上に行く「日和っ子」。最高です!



作品展 ～見て・作って・楽しんで～

図工部

10月28日に作品展が行われました。校舎の中には、全校の子どもたち一人ひとりの絵が飾られました。「どんな形で表そうか」「どんな色を塗ろうか」と真剣に考えながら、一筆一筆思いを込めて完成させた絵です。

全校鑑賞では、縦割り班の友達と一緒に回り、互いに自分の作品を紹介し合いながら鑑賞しました。自分の作品の前で、頑張ったところや工夫したところを紹介している子どもたちの表情からは、頑張って作品を完成させた達成感が伝わってくるようでした。

全校鑑賞の後は、各クラスに分かれて、紙コップを使った造形遊びを楽しみました。子どもたちは、夢中になって紙コップを積んだり並べたりして、作品づくりに没頭していました。どのクラスでも、どんな作品にするかを相談しながら、協力して巨大な作品を作り上げ、みんなで完成を喜び合う子どもたちの姿が見られました。参観くださった保護者の方も職員も、そんな子どもたちの生き生きと活動する姿に、元気をもらった時間となりました。

全校鑑賞や造形遊びを通して、色や形にたくさんかかわり、作品づくりの楽しさを再発見したり、今後の造形活動への意欲を高めたりすることができた作品展となりました。たくさんの保護者、地域の皆様、ご来校ありがとうございました。

